



## 未利用地等(学校跡地)

【特別号】

## 検討委員会ニュース

### 学校区別広聴会を実施しました！

8月25日から9月5日にかけて、6小学校区別の広聴会を開催しました。広聴会には、各小学校区内区長さんをはじめ、施設を利用されている団体の代表の方、各地区の社会福祉協議会の代表の方、PTAの代表の方及び地域住民の方々にご出席を賜り、多くのご意見等をいただきました。

今回は、広聴会時にいただきましたご意見等について、ご報告をさせていただきます。

広聴会にご参加いただきました皆さま、誠にありがとうございました！

### 広聴会概要！

	開催日時	学校区	場所
①	8月25日(月) 午後7時から	駒場小学校	駒場公民館
②	8月28日(木) 午後7時から	川根小学校	上飯沼新農村集落センター
③	9月1日(月) 午後7時から	上野合小学校	上野合小学校体育館
④	9月2日(火) 午後7時から	沼前小学校	沼前小学校体育館
⑤	9月3日(水) 午後7時から	石崎小学校	中石崎公民館
⑥	9月5日(金) 午後7時から	広浦小学校	広浦小学校体育館

### 各学校区からの主な意見等！ ※開催順に掲載、また、意見等の掲載は順不同

#### 【駒場小学校区】

- ・統合校(青葉小)で大きな行事を行う際、駐車場が狭いので、駒場小のグラウンドを使用してはどうか。
- ・プールがあった場所にグラウンドゴルフ場が整備できるのではないかな。
- ・みんなが集まって話をしたり、お茶を飲んだりゲームをしたりする地域の交流施設とし、各集落が連携して介護予防等に取り組む運営組織を創設出来れば、維持費も軽減でき、地域のための施設になるのではないかな。その際、維持管理費等最低限のものは町に負担してもらいたい。
- ・高齢者等の交流の場と一体化させて世代間の交流ができれば、子育てや幼児教育の支援にもつながるのではないかな。
- ・跡地に公立の幼稚園ができれば、保護者の費用負担が軽減され、広々とした敷地で、子供たちものびのびと過ごせるのではないかな。
- ・維持管理方法が決定するまでは、暫定的に地域の人たちで草刈りを行う程度の取り組みは行った方が良いのではないかな。

#### 【川根小学校区】

- ・企業の事務所として利用してもらってはどうか。積極的にPRして幅を広げ、最大限有効活用できる案を検討すべきである。
- ・若者向けの公営住宅があれば、人も子供も増えるのではないかな。
- ・ポケットファームときどきで農畜産物を販売しているので、跡地では、水産物を販売してはどうか。
- ・グラウンドや体育館等でスポーツ少年団等の子供たちが活動している場に高齢者が足を運んでもらえるようになれば、世代間の交流の場にもなると思う。
- ・東日本大震災時、川根小学校が川根地区の避難場所となったが、体育館は使用不能だったので、校舎は、いざという時の避難場所として使えるよう残していただきたい。
- ・校舎を川根地区の年配の方のコミュニケーションや子供たちのスポーツの場として残してほしい。

### 【上野合小学校区】

- ・体育館を避難所として活用する場合、調理室等の機能を確保すべきである。
- ・地域に児童クラブがあれば保護者にとって便が良く、災害時すぐに迎えに行ける。
- ・子供が思いっきりボールを投げたり蹴ったりする場所がないので、跡地はサッカー場や遊具を残してもらい、公園等とするのが良いのではないか。
- ・プールの跡地周辺は、車が通り抜けできるルートの整備と周辺の除草をすれば広い駐車場となる。
- ・下座地区の方から、学校跡地をスクールバスの停留所にしたいという希望があり、町から「跡地へのバス停の設置は可能」と明言してもらえれば、スクールバスの検討も進む。
- ・災害訓練等の旧村5地区単位の取り組みに今後も利用できるよう跡地は残してほしい。
- ・近隣で統合が終了している市町村などの先行事例を集めてほしい。

### 【沼前小学校区】

- ・少年サッカーの公式試合ができる広さがあるので、全面芝生化してほしい。
- ・医療費の削減効果も見込める健康づくりのための施設としてほしい。
- ・校舎は各地区に教室を割り当て、地区の倉庫のように利用してはどうか。
- ・リハビリセンター等、高齢者向けの施設として利活用してほしい。
- ・宿泊施設として利活用されれば、子供たちの合宿にも利用できる。
- ・校舎を更地にして、シャワー室、管理室を設置すると同時に高齢者が遊べるような空間も確保してほしい。
- ・沼前地区の特色は農業なので、アイデアを活かし、外国にもPRできるような利活用をしてほしい。

### 【石崎小学校区】

- ・体育館の隣に調理室があれば、災害時に便利である。
- ・除草等の維持管理は、地域住民だけでは難しい。これまでは子供たちがいるから協力していたと思うが、閉校後の協力者は利用団体だけということになるのではないか。
- ・雇用も見込めるので校舎を解体後、平屋の建物を建築し、農業加工施設をつくってはどうか。
- ・民間業者委託による観光を推進してはどうか。都会の人に1泊2日できてもらうような企画ができると良い。
- ・地区を子育てゾーンとし、公園の整備やいずれはコミュニティ施設の設置等、できることから実施してはどうか。
- ・町には公園が少ないので、体育館とグラウンドの利用を中心に考え、駐車場、水道及びトイレを設置し、公園としてはどうか。

### 【広浦小学校区】

- ・健康増進施設をつくってはどうか。
- ・利用者は地域住民が主体だと思うので、交流の場としてほしい。また、新しい人が来てくれて交流ができ、地域活性化につながるような検討をしてほしい。
- ・温泉等の観光資源がほしい。
- ・地域で利用できる規模ではないので、大学等、まとまった利活用ができるところに来てほしい。
- ・涸沼を県の観光基地とできるような施設、涸沼周辺の整備について考えてほしい。
- ・学生と懇談等して、地域では見えないアイデアも取り入れてほしい。
- ・涸沼自然公園に町外の人を連れて来られるような案を検討してほしい。

その他にも、たくさんの方々からご意見等をいただきましたが、紙面の都合上、全てを掲載することは出来ませんでした。どうかご容赦願います。

ご意見等をいただきました皆さま、誠にありがとうございました。

今後は、アンケート調査の集計等が出来次第、再度広聴会を開催して、各小学校区の意見を集約し、町未利用地等検討委員会で協議を進めてまいります。

2回目の学校区別広聴会は、11月5日から12日にかけて開催する予定です。  
詳しくは、町ホームページや回覧等でお知らせいたします。

茨城町未利用地(学校跡地)等検討委員会ニュース【特別号】  
編集・発行：茨城町未利用地(学校跡地)等検討委員会  
事務局：茨城町総務企画部新政策審議室内  
TEL:029-292-1111 内線252 FAX:029-292-6748